

2系 飼料用の稲麦二毛作体系を基軸とした持続的な飼料生産技術の開発

目標: 水田における自給飼料生産の多収化、低コスト化、作業の平準化技術を開発し、マニュアルを作成

推進体制

主な検討内容

稲麦体系による多収、麦類WCS調製技術	稲麦2毛作体系	<ul style="list-style-type: none"> ・専用収穫機による麦類のダイレクト収穫 ・適草種・品種選定、立毛間播種等の省力技術 ・飼料用イネの無代かき、乾田直播
	暖地多毛作体系	<ul style="list-style-type: none"> ・イネ2回+オオムギ=3作/年体系による多収 ・多様な水稻作期に組み合わせる周年体系 ・営農支援ツール
飼料用米の低コストな多収と調製	飼料用米生産	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏、豚ふん堆肥を活用する飼料用米の多収技術 ・直播、立毛乾燥、多収品種等による低コスト化 ・いもち病、漏生イネ対策による食用米との共存
	ソフトグレインサイレージ	<ul style="list-style-type: none"> ・SGSの発酵品質向上 ・完熟期飼料用米を対象とする施設型SGS体系
トウモロコシ省力、安定多収体系		<ul style="list-style-type: none"> ・耕うん畝立て播種の2毛作へ適用、施肥法 ・カビ毒対策、省耕起体系、施肥管理の高度化